

他課からの意見および対応(各課照会1回目)

	部署	該当箇所	意見	対応
1	健康増進課	P11『大学、企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用』	成果について、締結年度順に並べるのがよいのではないか。	P.11の表を締結年度順に修正
2	健康増進課	P11『大学、企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用』	「令和４年度 大手製薬会社」とあるが、大塚製薬株式会社との協働事業については令和６年度までの実施予定であり、令和７年度以降の実施については未定であるため削除していただきたい。	前回計画期の成果であるため掲載
3	生涯学習課	第3版（素案）P13 『まちづくり活動の担い手づくり』の３点目 ・生涯学習団体・人材バンク～	生涯学習活動団体…活動を入れてください。	P.13「生涯学習活動団体」に修正
4	生涯学習課	具体的な施策一覧	寄付…寄附ではありませんか？(他のページもあります。)	「寄附」に修正
5	生涯学習課	具体的な施策一覧	「様々」と「さまざま」の統一(他のページもあります。)	「様々」に統一
6	学校教育課	6 ページ③後援具体例 栗東駅前夏祭り	本件に関して、「栗東夏祭り実行委員会 代表 濱田光宏」から本市教育長あて令和6年4月19日付けで本市教育委員会の後援承認申請が提出され、同4月22日付け栗教委学第658号にて後援名義の使用を承認しましたが、同委員会が主催する「栗東駅前夏祭り2024」は、本市立小・中学校在籍の児童・生徒が学校行事として参画している訳でもなく、当該表記が本市学校教育活動の一環として誤って捉えられる恐れがあることから「（学校教育課）」の表記を削除願います。	P.6③後援を削除
7	広報課	全体を通して	広報誌 → 広報紙	「広報紙」に修正
8	広報課	P.15、P.25	市民記者「ミツケーター」に関する記載について、R7以降の運用について検討中であることから、R7以降は「ミツケーター」や市民記者養成講座等の文言を削除いただくようお願いします。	P.15成果の「市民記者「りっとうミツケーター」の養成講座やフォローアップ講座、SNS講座を開催。」を削除 代わりに「市公式SNSでの情報発信」を追加 p.25『市民（市民公益活動団体）が情報発信・共有できる機会の充実』の「市民記者による」を削除
9	保険年金課	素案 ３０、３１ページ 施策一覧	期間・頻度が「新規」となっていましたが、市民大学が新規事業のように捉えられてしまう可能性があるため、“今回行動計画の施策に取り上げるのが新規”と分かるような注釈があった方がよいのではと思いました。	P.30「新規」の説明を追加
10	長寿福祉課	P12	成果 一行目 栗東１００歳大学がコロナ禍で、ＺＯＯＭ講座を実施 →削除をお願いします。コロナ禍により一部の講座にＺＯＯＭを活用したのみであるため成果ではありません。	P.12成果の「栗東１００歳大学がコロナ禍で、ＺＯＯＭ講座を実施」を削除

他課からの意見および対応(各課照会1回目)

	部署	該当箇所	意見	対応
11	長寿福祉課	P12	四行目 栗東１００歳大学開催実績一覧 →削除の上、下記一文の追加をお願いします。 ・栗東１００歳大学での講座を開催し、卒業後は学びを活かして仲間と繋がりながら、それぞれが社会参加活動（就労、ボランティア活動、学び、趣味活動）を実施。	P.12成果の栗東１００歳大学開催実績の表を削除 代わりに「栗東１００歳大学での講座を開催し、卒業後は学びを活かして仲間と繋がりながら、それぞれが社会参加活動（就労、ボランティア活動、学び、趣味活動）を実施。」を追加
12	子育て支援課	P16～17	④市政への参画 「広報制度の充実」と「市政への市民参加機会の推進」の課題が、市民への広聴制度の周知と市民の参加への取り組み。と記載されており、推進内容と同じ表現になっていますが、どのように周知していくのか、どのように参加への取り組みを推進していくのか、「市政への市民参画機会の推進」の実績を記載した上で、何が課題なのか具体的な課題を記載するとわかりやすく、当課が実施している小・中学校等でのこどもの意見を聴くワークショップについても、協働のまちづくりや市民参画推進のための開催目的ではないですが、記載内容によっては、該当の可能性も出てくるのではないかと思います	P.17「市政への市民参加機会の推進」の課題を修正
13	子育て支援課	P18成果指標の達成度	例えばネットを活用した活動など、新型コロナウイルスの感染拡大の影響がある中でも取り組まれた活動があれば、記載されると達成度に対する分析内容が深くなるのではないのでしょうか？また、どれくらい市民活動が制限されたのか、もしデータを持っておられれば、今後の活動の在り方を示すうえでも記載されると良いと思います。	P.18の文章を修正
14	地方創生企画課	P.8 「栗東市将来展望人口」	「将来展望人口」という使い方はあまり見かけないため、「将来推計人口（年齢3区分）」としてはいかがでしょう。	P.8「将来推計人口（年齢3区分）」に修正
15	地方創生企画課	P.8 「栗東市将来展望人口」の注釈の2行目	「…、社人研の公表データ（令和５（２０２３）」の続きが切れています。	P.8「…、社人研の公表データ（令和５（2023）年度推計）。」に修正
16	地方創生企画課	P.9 「５．前回行動計画の成果と課題」の「目指す姿」以下の図表について	次のページから（P.10～P.27）の記載内容との関係性がわかりにくいように思います（例えば、現在記載されている基本目標の表では、項目として「環境づくり」、それに対する基本目標として「多様な主体とのネットワーク…環境が整っている」と表記されていますが、P.10では前回計画に記載があった推進内容「①中間支援組織の…組織体制の充実」の見出しに対する取り組み内容とそれに対する成果と課題が記載されているため、どこから「①中間支援組織の…組織体制の充実」の見出しが出てきたのかわからない）ので、「目指す姿」と「基本目標」の図表を前期計画P.11の体系図に差し替えてはいかがでしょうか。	P.9基本目標の表を修正

他課からの意見および対応(各課照会1回目)

	部署	該当箇所	意見	対応
17	地方創生企画課	P.9 「5. 前回行動計画の成果と課題」の「目指す姿」以下の図表について	P.9には、前回計画の成果指標の記載がありますが、スタート値、目標値にいつの時点の数値なのかの記載がなく、わかりにくいように感じました。この成果指標については、P.18にも別立てで「（2）成果指標の達成度」としてP.9の表にそれぞれの値の年次と、令和5年度の実績値の記載がありますが、同じような内容のものが2つ記載されているように感じてしまうので、記載方法等について整理をされてはいかがでしょうか（P.9の成果指標を表仕立てにするなど）。	P.9成果指標を表に変更
18	地方創生企画課	P.20 「6. 今回の行動計画の方向性」について	先の3点目と同様、「基本目標」の表について、具体的な推進内容（「①中間支援組織の育成・支援及び組織体制の充実」など）を記載した方が次のページからの「（2）施策の展開」の中身とのつながりがわかりやすいのではないのでしょうか。	P.20基本目標の表を修正
19	秘書広聴課	P.6 ③後援	後援が協働になるとは思えないので削除。	P.6③後援を削除
20	秘書広聴課	P.7 ⑤意見交換会	「市民同士や市民と議会・市が、・・・」を「市民同士や市民と議会または市が、・・・」にしてはどうか。 議会と市がセットになっているように捉えられるため。	P.7「市民同士や市民と議会または市が、・・・」に修正
21	秘書広聴課	P.7 ⑤意見交換会	具体例にある市長への手紙は意見交換の場ではないため削除。	P.7具体例の「市長への手紙」を削除
22	秘書広聴課	P.7 ⑤意見交換会	具体例にある市長への手紙、市長のこんにちはトーク、まちづくり出前トークは合意形成を図る場ではないため削除。	P.7④「意見交換会」を「意見交換会・聴取」に修正 「合意形成を図っています。」の部分を修正
23	秘書広聴課	P.16 ④市政への参画「広聴制度の充実」	市民参画の実績の数字が違う。 市長への手紙 R2：266通、R3:222通、R4：369通、R5：228通 まちづくり出前トーク R3：15回、R5：69回 令和6年度の数字についていつ時点にするのか？ 11月末時点とするのであれば、市長への手紙148通、市長のこんにちはトーク2回、まちづくり出前トーク48回となる。	P.16実績値を修正

他課からの意見および対応(各課照会1回目)

	部署	該当箇所	意見	対応
24	秘書広聴課	P17 パブリックコメント実績	R6年度の数字について、12月時点が12月のどの時点を指しているのかわからないが、12月時点だとパブコメ実施中のものがあり、意見数を集約できないので11月末時点にしてはどうか。そうすると、 計画件数 5件、意見件数6件となる。 また、掲載されている主な計画もパブコメ実施中のものとなるので、パブコメが終了している「栗東市地域公共交通計画」「栗東市デジタル田園都市総合戦略（第3期総合戦略）」などにしてはどうか。	P.17実績値と主な計画を修正
25	秘書広聴課	P17 「市政への市民参画機会の推進」	成果のところで、「各分野における計画策定や改訂」に市民参画があったのか？この書き方だとそれぞれの内容（審議会やアンケート）に市民参画があって、パブコメとは別に市民参画があったようにとれる。	審議会、アンケートを市民参画としている、「パブリックコメント」は削除
26	秘書広聴課	P17 「市政への市民参画機会の推進」	パブコメは四角に囲まれている4項目には当てはまらない。	P.17成果の「パブリックコメント」を削除
27	秘書広聴課	P17 「市政への市民参画機会の推進」	課題について、「広聴制度の充実」と同じ内容になっているが、一緒ではおかしいのではないか。	P.17「市政への市民参加機会の推進」の課題を修正
28	秘書広聴課	P17 「市政への市民参画機会の推進」	実績の写真については令和6年度実施の写真と差替え。	P.17写真の差し替え
29	秘書広聴課	P26 「広聴制度の充実」	市民説明会とは何を想定しているのか。各種事業の説明会？想定がないのであれば削除してもいいのではないか。	P.26「市民説明会」の削除
30	秘書広聴課	P26 「市政への市民参画機会の推進」	「市民の意見を把握、反映するための機会創出」とは何のことを言っているのか。パブコメのことを言っているのであれば「広聴制度の充実」で言っているのでそちらに含めばいいのではないか。	P.26「市民の意見を把握、反映するための機会創出」を削除
31	秘書広聴課	P26 「市政への市民参画機会の推進」	四角枠の下でパブコメのことを言っているが、「広聴制度の充実」で言っているので削除。	P.26パブコメについては「市政への市民参画機会の推進」に記載
32	秘書広聴課	P26 「市政への市民参画機会の推進」	そもそもパブコメは広聴、市民参画どちらで掲載するのか。広聴と市民参画の定義は？	パブコメは市民参画として掲載
33	政策調整課	総論	現在、「自治会のあり方」問題が注目される中で、本行動計画で当該課題を取り上げていないように思われる。自治連でも取り上げられている自治会や地振協の問題を、どのように考えているのか、何らかの形で示すべき。	P.10～17の各課題に自治会・地振協関係のものを追加
34	政策調整課	P2 （2）行動計画の位置づけ 体系図	行動計画は、条例の具現化のためのものであるなら、この体系の位置ではないのではないか。	P.2体系図の修正
35	政策調整課	P2 （2）行動計画の位置づけ 体系図	『分野別計画』との関連で、現在策定中の「第九次栗東市行政改革大綱」では、『市民参画と協働の取り組みについては「栗東市市民参画と協働によるまちづくり推進条例行動計画」に委ねる』と記載するので、『分野別計画』に大綱を記載していただけると、関連がわかりやすいと考える。	P.2「分野別計画」に「第九次栗東市行政改革大綱」を追加
36	政策調整課	P10～17 成果と課題	どの「推進内容」においても、「課題」の導き出し方がよくわからない。現行計画の期間中に何もしていないのか、取り組みが不足しているのか、不明。「課題」とする理由を記載するべきではないか。	P.10～17の各課題に「課題」として挙げた理由を追加

他課からの意見および対応(各課照会1回目)

	部署	該当箇所	意見	対応
37	政策調整課	P10～17 成果と課題	どの「推進内容」においても、「推進内容」の項目と「成果」が連動していない。明らかに「推進内容」の項目が多く、「成果」の項目が少ない。成果が記載されていないと、その取り組みを実施していないように見えるが、取り組みは行っているのではないか。評価検証が不十分なのではないか。	P10～17に課題を追加掲載し、今回計画期間中の具体的な取組みにつなげていく
38	政策調整課	P11 『大学、企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用』の「成果」	民間事業者名を伏せているが、包括連携協定については公開しているものなので、企業名を伏せる必要はないと考える。	P.11具体的な企業名を表記
39	政策調整課	P11 『大学、企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用』の「成果」	包括連携協定だけではなく、各担当課で取り組んでいる事業連携協定（特に災害対応の協定数など）も掲載してはどうか。 （個別の連携協定については、政策調整課で、R6.10に照会してまとめたものがあるので情報提供しますが、計画への掲載内容については、個々の担当課に確認してください。）	P.11災害対応の協定数を追加
40	政策調整課	P11 『大学、企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用』の「成果」	「令和４年度大手製薬会社」の取組が協定締結のみとなっているが、主担当である健康増進課で取り組みをなされているのではないか。他の事業者との取り組みについても、協定締結時から令和６年度の取り組みが記載されているか、確認が必要ではないか。（単年度の取り組み内容になっていないか）	P.11大塚製薬株式会社との取組みを修正
41	政策調整課	P18 （２）成果指標の達成度	コロナ禍の影響のためと書いているが、市民活動への機運の後退など、それ以外の要因も考えられるのではないか。	P.18の文章を修正
42	政策調整課	P19 （市民参画と協働によるまちづくりに関するアンケート・ヒアリング調査	前回計画の進行管理や今回計画の策定を目的として実施したアンケートなら、アンケート調査結果の概要を記載するべきだと考える。	アンケート調査結果を別途PDF資料としてまとめて、HPの素案と同じページに掲載予定(ページ数の関係でアンケート概要の掲載が難しいため)
43	政策調整課	P22 『企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用』	「・民間事業者との協働による馬事業の実施」とあるが、「馬事業」に限定する必要はないと考える。 （現行計画でも、「成果」として記載がない。）	P.22「馬事業」の馬を削除
44	政策調整課	P22 『企業等の多様な主体との連携・ネットワークの活用』	『市民や事業者のシビックプライド（市に対する市民の誇り）の醸成』について、囲み内の具体的な取り組みが少ない。記載の２つだけでは、「市民が自分たちのアイデアや活動を実現できる環境の整備」はできないのではないか。	P.22「市民や事業者のシビックプライド（市に対する市民の誇り）の醸成」の取り組み内容を追加
45	政策調整課	P25 中段 『市民（市民公益団体）が・・・』	「公益」のフォントが小さい。	P.25「公益」のフォントを修正
46	政策調整課	P27 ⑤市の推進体制	市の推進体制として、関係課による協議も無いまま、組織横断的な取り組みを記載して良いのか。	P.29に記載しているように今回計画期間で進行管理として、関係課会議・専門部会を行う
47	政策調整課	P27 ⑤市の推進体制	今後の推進体制として、どのような体制を想定しているのか、わからない。	P.29に記載しているように今回計画期間で進行管理として、関係課会議・専門部会を行う
48	政策調整課	P28 成果指標	記載の指標は、成果指標ではなく、活動（アウトプット）指標ではないか。	委員会の中で成果指標として承認されたため修正なし

他課からの意見および対応(各課照会1回目)

	部署	該当箇所	意見	対応
49	政策調整課	P33 （３）市民団体へのヒアリング結果	「はい」と「いいえ」の数が目視で分かりやすいように、グラフを用いてはどうか。	P.33ヒアリング結果をグラフで表記